



主の召命の導きに応える二〇〇五年度



〓 OBI 15年目のチャレンジ

理事長 学院長

増田 誉雄

主の奇しい導きをいただいで始まったOBIも、今年は15年目をむかえます。また、大きな経済的試練を「新生OBI」として乗り越えてきて5年目です。その間に、多くの方々のお祈り・ご協力・ご支援をいただきましたこと

を心より感謝いたしております。そして、このような節目とも思えるときに当たって、ヨシユア記の御言葉を与えられました。「あなたがたは、今までこの道を通ったことがない。」(三・3)―すなわち、未知の道へのチャレン

ジです。4月から始まる「OBI ネットコース」はまさにそのようなチャレンジで、インターネット時代に応える画期的な試みです。

この新しい試みを始めるとき、主の召命の導きにひたすら歩まれた羽鳥明師のことを思わされています。師はOBI卒業式では毎年、熱意あふれるメッセージをもって卒業生を祝し、励ましてくださり感謝致しております。

さらに、強調させていただきたいことは、1970年代、当時OCC理事長をしておられた師が、「セクターで教育活動をすべきです。」と言って、その任を私にゆだねられたことです。それが1980年代の教育部活動となり、1991年にはOBIとなったのでした。師の熱心なご指導、ご協力、ご支援ゆえのOBIでもあ

ります。それは、主の召命に忠実に従う師の信仰姿勢より出ずるものと感銘を深めております。

と申しますのは、過ぐる3月14日、師の「放送伝道50周年記念」の祝賀会が開かれ半世紀にわたる真実な主への服従の歩みが披露され「放送伝道」のみならず、広く超教派的に宣教の働きのまとめ役としての貢献の程が鮮明にされました。それはまさに未知なる道への挑戦でした。

かかる師は、私たちのOBIの名誉学院長・顧問として、私たちをご指導して下さっていることに改めて「50周年記念」をお祝いして、心より「おめでとうございます。」とこの紙面で皆様とご一緒に言わせていただきたいと思います。そして私たちも師にならつてこの学年度、未知の道に信仰をもって歩みたく思います。

第12回卒業式

行われる

2005年3月12日(土)、第12回OBI卒業式が多くの来賓を迎え、先生方・同窓生の温かい祝福の中で執り行われ9名が卒業しました。



卒業にあたって

第12回卒業生 関 節子

振り返ってみると、三年間の学院生活は、あつという間に過ぎ去り、短かったような気がします。毎回、授業が終わると、翌週の授業が待ち遠しくなるような魅力のある授業を受講できたことは非常に幸せでした。

知識を得たことも大きな恵みでしたけれども、それ以上にすばらしかった事は、先生方の人格に触れることができたことでした。それが出来たのは、先生方が、まず先に、教師という立場を超えて、私達一人一人を理解し、尊重して下さったからだと思います。

授業の合間に語られる先生方の人生体験は、全てにおいて「神に頼る」(神第一)信仰が強められるものばかりでした。それによって、先生方とは違った世界に住んでいる私たちの世界が、広げられるよ

うな体験をしました。貴重な体験でした。

また、学友との交わりにおいて、超教派の学生の集まりであるため、討論を通して信仰の軌道修正をされたりしたことは、楽しい思い出です。それによって、今まで気付かなかった自分の信仰のアイデンティティを改めて認識したことは大きな収穫でした。

在学中に受けた多くの恵みと確信は、私たちの信仰の肥やしとなつて、これからの奉仕の上で大きな力となつて表れることでしょう。主に喜ばれる力強い働き人として用いられることを願っております。

「あなたがたはすべてのことに富む者とされ、惜しまず施すようになり、その施しは、私たちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。」(コリント第二九：11)

2005年度

新年度スタート

4月11日夜6時半から2005年度の入學式・始業式が行われました。

新入生・在校生がひとつになつて学院長のメッセージ「角を曲がるとそこに立つておられる主」を拝聴し燃やされて、新しい出発を祈りました。

今年一年の学院の学びのため熱祷をお願いします。

心を豊かに養われる恵みのひととき

第10回

OBI 夏季スクーリングのご案内

日時：2005年7月11日(月)～13日(水)

講師：山口昇師(アレセア聖書研究所所長)

主題：「黙示録の七つの教会」…その昔と今を訪ねる…

会場：恵みシャレー軽井沢

費用：26,000円(1泊参加者は13,000円)

ネットコース開設にあたって

講師 福井 誠

「学びが重要なのはわかっていても、地方にいるとその機会はなかなか得られない。」との声を聞いたことがあります。あらゆる人に神学教育の機会を提供する必要性について、私はかねてより祈らざれるところがありました。そして今OBIネットコースが開設されるにあたり、私はそのような声を思い出しながら、大変感謝するところがあります。

1. ネットコース開設の意義

日本の福音宣教が進められるためには、多くの働き人が必要です。それはただ狭い意味での献身者を育て増し加えるばかりではなく、一般信徒もまた

主の証人として整えられていくことが求められている、ということです。そのためにはこれまで以上に多くの人たちに、神学教育の機会が開かれていく必要があるでしょう。どんな人の学びの意欲にも、たとえば通える距離に神学校が存在しない地方の在住者、忙しいビジネスマン、子育て中の主婦など

にも応えられる学習環境が必要で、地理的、時間的に学びが制約されないOBIネットコースは、そのニーズに応える新しい神学教育手段と言えます。また、ネットコース開設は、神学教育におけるすばらしい可能性を秘めています。聖書的、福音的正統主義の立場を保持し、超教派的、国際的視野をもつて神学教育と実践的伝道訓練を展開するためには、東京という一都心に限定された地方教育ではなくして、世界大に広がるネットワーク内での教育が必要とされています。OBIネットコースのような相互学習ネットワークを通じてこそ、そのようなビジョンに近づくことができます。

2. ネットコースの特徴

実際ネットコースは、これまでの通信教育とは全く異なる特徴を持つ新しい教育手法です。従来の通信教育では、レポート・試験課題や質問のやりとりは郵送で行われるものでした。しかしこれからは、インターネットの環境でどこからでも行うことができます。それだけ学びの

自由度が高まり、忙しい方でも自分のペースで学習を進めることが可能だ、ということです。また、従来の通信教育は、レポート評価表の整理や学習進捗状況の管理が容易ではありませんでした。しかしこれからは、コンピュータ上で自分の学習の進み具合が一括して把握できます。学習目標や計画を立てやすくなり、学習に励みができます。さらに、通信教育の欠点のひとつは孤独な学習環境に追い込まれがちであった、ということです。個別指導があったても、郵便のやりとりでは教師や生徒との人格的な触れ合いは十分起こらずに終わってしまいがちでした。しかしこれからは、インターネット上で講師や受講仲間と交流ができます。お互いの学習の進み具合がわかり、励みになり、また即時的で丁寧な指導は、講師・生徒間の人格的な触れ合いを促進することでしょう。インターネット技術の発達により、これまでにない学習環境が整えられつつあります。こうした時代の利点をOBIは積極的に活用し、たくさんの人が主の栄光を証するためのお手伝いをしてまいりたいと思っております。

募金コンサートのお知らせ

今年も左記のように、第2回お茶の水聖書学院募金コンサートを企画いたしました。今回は一般コースで指導くださったっている植木朋子先生の独唱会です。賛助出演として、クリスチャンであるホルン奏者の宮田四郎先生と、一般コースでオルガンを担当されている内藤真奈先生が演奏いたします。親しみやすい楽しい作品を予定しておりますので、皆様のご来場をお待ち申し上げます。なお、チケットの収益は学院の活動支援のために献げられます。

第2回 お茶の水聖書学院募金コンサート

「植木朋子 独唱会」

賛助出演 宮田四郎（ホルン）

内藤真奈（オルガン）

日時 2005年6月18日（土）

2時半・開場 3時・開演

会場 OCCビル8階 チャペル

チケット 前売り 2000円

当日 2500円

お問合せ お茶の水聖書学院

03（3296）1005

OBI会計報告

御名を崇めます。

前回の御報告において第4期の中間決算報告を申し上げましたが、期後半におきまして、第3期末の山崎製パン(株)の献金の趣旨を最大限に活かすために、聖書科の充実、音楽科の回復、更に新しい仕事の導入について、5ヶ月間、毎月全力を尽くして業務遂行を行って参りました。世間の経済情勢は必ずしも好転しているとは言えませんが、それぞれの部門は順調に推移しております。

特に新規事業は、当期中に第1ステップの準備を終え、第5期には小規模であっても、事業の展開を行いたいと願っております。

その他、従来の部門においても、会計業務の効率化、広報宣伝の組織化等、内容の充実に努めております。何卒、関係の皆様の御協力、御鞭撻をお願い申し上げます。

◎この期間の特別献金御芳名録

(アイウエオ順、敬称略)

(1) 個人の献金

井野姉 金本悟 加茂康一
小林喜久雄 杉山礼子
増尾邦子 増田慶子
増田誉雄 三浦喜代子

(2) 団体の献金

OBI同窓会第11回卒業生

◎この期間のOBI後援会献金

芳名録(アイウエオ順、敬称略)

(1) 維持会員

有田貞一 有田美榮子
飯島多稼夫 猪狩友行
小野沢恵子 金本悟
木下順子 国東恵子
窪井節子 窪田淳子
小林喜久雄 斉藤とし子
佐藤 敬 佐野謙次
佐野寿美子 須子 都
関 節子 世良田湧侍

(2) 賛助会員

田中恵子 中川和代
浪井弘子 西 満
羽鳥 明 平松庸一
藤原導夫 増尾善文
増田誉雄 松岡常子
三浦喜代子 三浦秀彌
宮本三枝子 森 登
森本馥 依田和子
脇坂勇 黒沢すぎの

阿江美千代 阿部恵子
伊藤洋子 王 永天
奥津 晃 菊田洋子
佐野盾一 佐野謙次
世良田湧侍 中島総一郎
日名富士 増田誉雄
三浦秀彌 宮本三枝子
山本敏夫 脇坂勇

(3) 大峰バイブルホーム前橋上

泉町教会 荻窪栄光教会
練馬神の教会

◎OBI後援会の働き

(1) この期もOBIの働きに寄与するために、献金、奨学金その他の事業を行っております。維持会員、賛助会員、団体会員の皆様の御協力に感謝申し上げます。

(2) 新規事業の働きのため、教室の賃貸保証金が必要であり、OBIの資金需要に備えてOBI基金の増資に応じました。

後援会は、これ以外にも力に尽じて尽力いたしたく存じます。関係の皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

◆後援会への自動引落とし献金方法

新しく郵便局の口座自動引き落しを希望されます方は、事務局にお申し出くださいますと、必要な用紙をお送りいたします。

◆後援会連絡先 OBI事務局

電話 03(3296)1005
FAX 03(3296)4641